

会員紹介コーナー



上方演芸の更なる発展と継承を

春寒も次第に緩み、穏やかな日差しが本格的な春の訪れを予感させます。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、5年後には、大阪・関西万博も控える中、国外の方々も日本の文化に接する機会が今以上に増え、それを期に私たち自身も改めて自国の文化、「上方演芸」について見つめなおす機会が増えることになると思います。

不確実性の高い未来を切り開く私たちの大きな活力の源である文化、「上方演芸」の更なる発展を願い、その文化の継承に、皆さんと力を合わせ、微力ながら取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

森下仁丹株式会社 代表取締役社長 森下雄司

昨年5月総会にて森下雄司様は当協議会の新副会長に就任くださいました。

尚、駒村純一様（森下仁丹株式会社特別顧問）は副会長から顧問に就任されました。



第八回関西演芸しゃべくり話芸大賞予選の審査員として、アマチュアの方から普段劇場をメインに活躍されている芸人さんまで、二日間で総勢204組の審査をさせていただきました。普段からお笑いが大好きで知っている芸人さんも多くいましたが、覇目なしの審査員としてネタを見ると、登場の仕方や、ネタ中の目線、立ち振る舞いなどで、その日のウケ方が変わっていることが印象的でした。の中でもダントツで優勝したミルクボーイがその後M-1も優勝をした時は、大興奮したと同時にとても誇らしく感じました。この大会が関西の若手芸人の登竜門となり、全国で活躍していくことを見ることが、関西演芸推進協議会のスタッフとしても、お笑いファンとしても今後とても楽しみです。

株式会社小学館集英社プロダクション 今宮 彩夏

Report



笑学ワークショップ事業にご協力いただいた皆様に感謝状をお贈りしました

当協議会が主催する「笑学」ワークショップの事業に多額の寄付金をいただきました、前田葉子さまと大光電機株式会社さまに感謝状を贈らせていただきました。

Information



漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることが出来るなどコミュニケーションがしっかり取れれば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。



2019年度 笑学ワークショップ実施一覧

8月 8日 堺市 人権ふれあいセンター	12月 16日 大阪市立塙本小学校
10月 28日 大阪市立関東小学校	12月 23日 大阪市立大領小学校
10月 31日 八尾市竹渕小学校	1月 16日 岸和田市立山直南小学校
11月 7日 吹田市千里丘北小学校	1月 21日 大阪市立喜連小学校
11月 18日 大阪市立平野小学校	1月 27日 大阪市立成育小学校
12月 13日 摂津市立鳥飼北小学校	2月 14日 摂津市立鳥飼西小学校
12月 15日 高台子ども会（大阪教育文化振興財団）	2月 21日 大阪市立弘済小学校

会員募集中!!

関西の上質な演芸文化のために一緒に演芸を応援しませんか？

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動を一緒にしませんか…

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイト <http://www.walive.org>

関西演芸推進協議会



編集後記 「そんなんやつ、おらんやろ～」、「ダ～レガジャ～？」このフレーズが好きで、友人と会話でよく使ったりしています。昨年の秋の「関西演芸しゃべくり話芸大賞」での「それ最中やん？」もそうなの？何度も繰り返されることで覚醒される言葉やアクション。そこに視覚効果、聴覚効果が相乗され、より効果が高められるのかもしれません。今はメディアによる視覚的な影響が強いと思われますが、やはり魅力的な「声」と「間」が効いているように思います。今日からはボイストレーニングでもしてみようか？まずは、体幹トレーニング？いや、何事も連呼すること、繰り返し行うことが成功への道筋になるのではないかとほんのり思つたのです。（編集部：廣田）



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

笑ライブ 第28号

2020年3月

walive

「笑ライブ」とは…

「笑」、「商」、SHOW(見る)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

【発行】

NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
<事務局>
大阪市浪速区湊町2-245
オンテックス難波ビルF
千房株式会社内
TEL.06-6633-1430
FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org>
info@walive.org

CONTENTS

- ☆「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催2頁
- ☆2020年度「新春例会」開催3頁
- ☆2019年度「総会・懇親会」開催
- ☆会員紹介コーナー
- ☆「笑学」のご案内 他4頁

INFOMATION

いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただき、会員の皆さまには厚く御礼申し上げます。「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を間近に控えることから、日本全国、世界各地から関西を訪問される方が増えることも予測されます。これを機会に関西の演芸、および伝統文化の認知度が高まるよう、協議会の活動もその役割を果たせられればと思います。活気づく関西を舞台に、「関西の「演芸文化・伝統文化」伝承のための活動」をサポートしてまいりたいと思います。

道頓堀リバーフェスティバル「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」

「ミルクボーイ」がグランプリ受賞！！

続きを読む

ミルクボーイ駒場です。
10月に関西演芸しゃべくり話芸大賞
で優勝させて頂き、自信がつきまして
M-1まで走り抜けることができました!
本当にありがとうございます!
これからも漫才を大切に頑張っていき
たいと思います。
これからもよろしくお願ひ致します。

ミルクボーイの内海です。
賞をいただいてから自信を持って、
M-1を優勝することができました。
ありがとうございます。
みなさまによろしくお伝えください。
また今後ともよろしくお願ひします。



Report

道頓堀リバーフェスティバル「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催

予選

2019年9月14日(土)・15日(日)
於道頓堀ZAZA POCKET'S

優勝決定戦

2019年10月12日(土)
於YES THEATER



第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞の
YouTube アップ動画で
ミルクボーイは約92万回
観られています! その他のSNSでの視聴回数も上昇中!!
※第8回開催の他のアップロード動画も約1,000~15,000回の
視聴回数が確認されています!

2019年10月12日(土)、YES THEATERにて「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦が開催されました。9月14日(土)、15日(日)に開催された予選には204組のエントリーがあり、激戦を勝ち抜いた10組が決戦へ。決勝戦では会場入りをする芸人さんの気迫に溢れる面持ちを感じながら「どんな賞レースになるのだろうか?」と期待感でいっぱいに…。いざ本番! 会場はたちまち笑いの渦に包まれ、あっという間に賞レースも終了。審査結果が出るまでの間は、2019年3月に襲名披露された小文枝師匠の落語をお客様にお楽しみいただきました。

審査は難航の末、グランプリ受賞者は「ミルクボーイ」、準グランプリは「ラフ次元」に決定! 僅差での賞決定となり、昨年のレベルを超える大会でした。

また、その2ヶ月後に行われた昨年のM-1グランプリにおいて、ミルクボーイが優勝。協議会が8年に亘り続けてきた今大会からの実力者の誕生と飛躍に、大きな喜びを感じました。これからも関西を代表する話芸大賞となるよう、ますます盛り上げていきたいと思います。

最後に、台風の中ご来場いただきました皆さんと、ご協力、ご支援くださいました皆さんにあらためてお礼申し上げます。



Report

2020年「新春例会」開催

2020年1月28日(火)
於)スイスホテル南海大阪



開式の挨拶をされる小野会長

※相撲甚句とは: 江戸時代から力士の間で歌われてきた。地方巡業などの取組前に、土俵上から独唱する七五調の囃(はや)し歌。「ドスコイ、ドスコイ」の合いの手が入ります。

※櫓打ち分け: 櫓太鼓の打ち分けは、「寄せ太鼓」、「一番太鼓」、「はね太鼓」の3つの打ち分けが特徴。特にね太鼓は相撲の取り組みが全て終了すると同時に打たれる太鼓で、皆様に向かい「御機嫌ようお帰りください。また明日もお出でをお待ちしております。」という思いが込められて打たれています。したがって1日興行や千秋楽では打たれていません。

※触太鼓: 相撲で、初日の前日に、呼び出しが太鼓をたたきながら興行が始まる事を町中に触れ回ること。また、その太鼓。



Report

2019年度「総会・懇親会」開催

2019年6月13日(水)
於)スイスホテル南海大阪

2019年6月13日(水)スイスホテル南海大阪において、2019年度「総会」が開催されました。前年度の事業報告と今年度の事業計画・収支予算案をご提案。満場一致でご承認いただき、新しい年度をスタートさせることができました。

第二部では、講談師の旭堂南陵師匠による基調講演。4月に発行されたご自身の著書「辞典がない大阪弁」にちなんで、大阪弁の歴史や現在使われている大阪弁の間違いなどを講じられ、会場は笑いの渦…。最後は「鼓ヶ滝」の講談一席を楽しめさせていただきました。



ご講演いただいた旭堂南陵師匠